

1. 「日台稲門会の現状と今後」



会長 三村 達

令和 2 年に中国をはじめとして世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、いまだにその収束の兆しが見えてきていません。

ただ、幾つかの国で開発された新型コロナウイルス用のワクチン接種が、アメリカをはじめとしてすでに始まっており、日本でもこの 2 月から医療従事者の接種がスタートしました。

ウイルス感染といえば私が台湾に駐在していた 2002 年 11 月から 2003 年 7 月末までの間に発症した SARS を思い出しますが、あの時の台湾での恐怖を考えると今回の新型コロナウイルスが一日も早く収束することを心から願っています。

さて日台稲門会では、これまでは春季講演会、定期総会記念講演会、秋季講演会をイベントの中心として活動してきていますが、今回、それに加え、かねてより活動の一つとして実施したかった留学生との交流会を台湾協会の協力も得て初めて実施しました。

留学生からはかなりの好評を得られたので今後も日台稲門会の主要なイベントの一つとして実施していこうと考えています。

日台稲門会ではこれまでも会員の皆様向けに HP や会報を通じて日台稲門会の活動状況をお知らせしていますが、今後ともそれらの媒体を通じ少しでも多くの台湾のトピックスを提供していきたいと思っています。

また日台稲門会では毎月幹事会を開催していますが、そのうち何回かは幹事会終了後に幹事と会員の有志にもお声掛けをして台湾からの一時帰国者等から最近の台湾情報を聴くミニ座談会のようなものを開催してはどうかと検討しています。

日台稲門会としては、今後とも会員それぞれの方のご意見をお聞きしながら、日台稲門会活動の更なる充実に努めていく所存です。今後とも日台稲門会の活動に対しご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

2. 台湾近況

① 台湾産パイナップル

2 月 26 日に中国当局は台湾から輸入したパイナップルに害虫が付着していたとして、全面的な輸入停止を発表した。台湾のパイナップル輸出の 95% は中国向けのため、大打撃となった。台湾側は、輸出パイナップルの検疫で害虫は検出されていないと主張。今回の決定は嫌がらせ以外の何物でもないと広く考えられるようになった。そして日本への輸出活動も開始され、輸入が増えるとともに、中国の輸入禁止を知った一般の購買意欲も高まりを見せている。

3 月 10 日時点で日本への輸出は前年比 300%。現在、日本のスーパーマーケットや楽天、

アマゾン等ネットショップでの販売が人気だ。台湾との関係の深い日台稲門会の面々のあいだでも、台湾を応援しようと買う人が増えていると聞く。フィリピン製よりはちょっと高いが、芯まで食べられるという台湾パイナップルの味は格別である。

② 台湾記憶彫刻展の案内

台湾の彫刻家と台湾に縁のある日本の彫刻家による台湾記憶彫刻展が、近く東京・入谷で開催されます。コロナ禍で芸術家も活躍の場が限られている昨今、日台稲門会も同展に協力・応援しています。

会員の皆様をはじめ、多くの方々のご来場をお待ちしております。

【会期】 2021年4月12日～4月17日 11時30分～19時30分（最終日16時終了）

【会場】 いりや画廊 GALLERY IRIYA 東京都台東区北上野 2-30-2

【交通】 地下鉄日比谷線 入谷駅1番、2番出口から0分

【主催】 いりや画廊 GALLERY IRIYA

【後援】 台北駐日経済文化代表処文化部

【協力】 東京台湾の会、一般財団法人台湾協会、留日東京華僑総会、留日台湾同郷会、留日横浜華僑総会、留日埼玉県台湾総会、日本中華聯合総会、台湾新聞、早稲田大学日台稲門会、一般社団法人日台政策研究所、その他



臺灣記憶雕刻 出展作家

頼永興、宋璽德、江孟禧、陳凱智、邢力云、夏愛華、吉田敦、水谷篤司、芝田典子

2020年、私たちは今まで経験したことのない出来事に遭遇致しました。共に喜びや悲しみを共有する機会が減り、様々な想いや気持ち、またそれを表現する場さえ失いかけています。焦りの続く状況の中、僅に見つけた行先不明な工夫や挑戦も未だ結果に結び付かない状況の中で、私たちは正しい情報を収集し、そして自ら判断をすることで新たな日々に対応しています。しかし、彫刻家にはこのような状況だからこそ視覚化できる形があります。自分の気持ちや思い、主張から導かれた彫刻は、まさにその時代だからこそ感じる思いを表現しています。それらこそ、まさに未来へと繋る形であると私は考えます。デジタル的な現代アートが主流にな

りつつある昨今、素材の匂い、手で感じる表面のテクスチャー、身体で感じるボリューム感、光を受けることで感じる立体感、彫刻は五感を通して、作り手の思いや感情を感じることでできる唯一の美術ではないでしょうか。この度、台湾を代表する彫刻家であり、我が国においても彫刻を学んだ経験を持つ頼永興、宋璽徳。若手でありながら著しい活動を続ける江孟禧、陳凱智、邢力云、夏愛華。そして現在台湾を拠点とし、日本と台湾両国で制作と発表を続ける3名の日本人彫刻家、吉田敦、水谷篤司、芝田典子による作品を展示致します。

この展覧会名である「台湾記憶彫刻展」とは、両国の文化や歴史、そして習慣を自ら吸収し、その記憶を彫刻家として視覚化するとの思いからつけられました。現状況の中で、国としての枠組みを外し、世界を一単位とする中では、彫刻家にとっての制作に対する思いは皆同じです。この様な時代だからこそ改めて原点を模索し、共に失われた彫刻本来の存在意味を見つめ直すことで、未来へとつながる Sustainable Sculpture（持続可能な彫刻）が創出できるのではとの思いを込めました。 企画・出展作家 芝田典子

ARTIST（注 掲載されている作品写真は本展に出品する作品とは異なります）

①宋璽徳



1964 出生於基隆

1999 日本國立東京藝術大學美術研究科 博士畢業

現職 國立臺灣藝術大學美術學院雕塑學系專任教授

展覽：

2020 「幻境山水」宋璽徳雕塑展 / 大象藝術空間館，臺灣，台中

2019 「INK ASIA 水墨藝博」香港會議展覽中心，香港

2018 「海・光・雨」宋璽徳雕刻展 / 國立臺灣藝術大學，臺灣，新北市

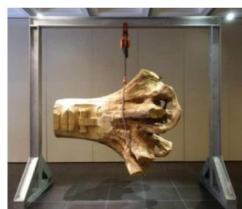
作品典藏：

2017 山水系列 基隆市文化局

2016 小島系列 國立台灣美術館藝術銀行典藏

2010 流星雨系列 鳳甲美術館典藏

②頼 永興



1963 台湾彰化県生まれ

1996 二科展 特選

1998 第7回日本現代具象彫刻展 優秀賞

1997 多摩美術大學彫刻科卒業、99年同大学院修了

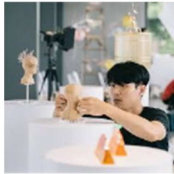
2002 金沢美術工芸大學博士課程修了

2006 Co6 台湾前衛ドキュメント入選 国立台湾美術館

2016 ART TAIPEI 2016

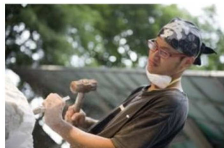
- 2018 自刻相 自刻像 頼永興木個展 THE 201 ART 台中市
 2018 The 35th Annual Sculpture Survey by Gomboc Gallery and Sculpture Park, Western Australia
 2019 【浪潮】台湾具象木彫芸術 50 年 彩雲 芸術

③江 孟禧



- 2009 国立台湾藝術大学 彫刻学部 卒業
 2012 麗寶彫塑新人獎 金獎 麗寶文化藝術基金会
 2012 台湾国際木彫コンクール 第三位 三義木彫博物館
 2014 国立台北藝術大学 美術学部 美術創作大学院 修了
 2016 「入木三分」台日泰木彫芸術交流展 バンコク
 2017 明天當代彫塑獎 入圍決選 四川美術學院
 2018 「之間」江孟禧個展 台北
 2019 全国美術展 彫塑類 銀牌獎 国立台湾美術館
 2019 「巢男札記」江孟禧個展 台北
 2020 台北国際アートフェア 台北

④陳 凱智



- 1988 年生まれ、
 2009 台湾藝術大学彫刻学部で彫刻を学び始め、その間多摩美術大学彫刻科に交換留学で半年木彫制作。
 2019 台湾藝術大学大学院彫刻学部修了。現在は板橋 435 藝文特區レジデンスと創作活動。主な創作の素材は木材。作品テーマはずっと動物を主軸としている。幻想的な動物が対象。動物の形は心の想像からきており、それを彫刻で制作している。彫刻刀でひとノミひとノミ木材を削る過程の中で、違う素材感を感じ、それぞれに違う木目は作品に無限の想像を与えてくれる。

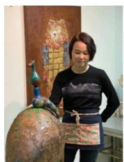
⑤邢 力云



1991年 台北生まれ、国立台湾芸術大学彫刻学部金属専攻を卒業。

2015年 サンフランシスコ芸術大学ジュエリーとメタルアート専攻で修士号を取得。第52回アメリカンクリエイティブクォーターリーアートカテゴリーセレクションを獲得しました。現在、国立台湾芸術大学彫刻学部の非常勤講師、「以覺學金工實驗室」の工芸コースの講師。パーソナルクリエーションは、工芸と彫刻を組み合わせ、女性の生活に焦点を当てた一連の作品を展開しています。

⑥夏 愛華



1973 台湾生まれ

2000 国立台湾芸術学院 卒業

2003 沖縄県立芸術大学大学院 修了

2017 邂逅の海 沖縄県立美術館 10周年記念展／沖縄県立博物館・美術館（沖縄）

2018 個展 妖精湖への旅／中華大学（台湾新竹）

2018 福州国際漆芸ビエンナーレ／朱紫坊 38号漆美術館（中国）

2019 個展 雨あがるまで／月臨畫廊（台湾台中）

2019 マブニピースプロジェクトイン済州「平和と鎮魂」展 西歸浦藝術的殿堂（韓国）

2020 動物研究室 /241 藝術空間（台湾新竹）

2020 個展 再生の森／尼崎市総合文化センター（兵庫県）

⑦吉田 敦



1967 群馬県生まれ

1993 多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

1999 2002 中国政府奨学生 中央美術学院留学

2008 台湾大葉大学造形芸術学科勤務

2017 韓国 龜尾市江東文化福利會館 開館記念 雕刻展

Thailand Japan Contemporary Art Exhibition 2017

2018 第12回 桐生市有鄰館芸術祭 376 ART Biennale 2018

2019 【識相・非象】 The Aesthetic Education Position of Taiwan
Sculpture 「Circle」 4大学国際交流美術展 Chiang Mai

2020 Stray Birds 197 2020 East Rift Valley Land Art Festival

⑧水谷 篤司



1975 岐阜県生まれ

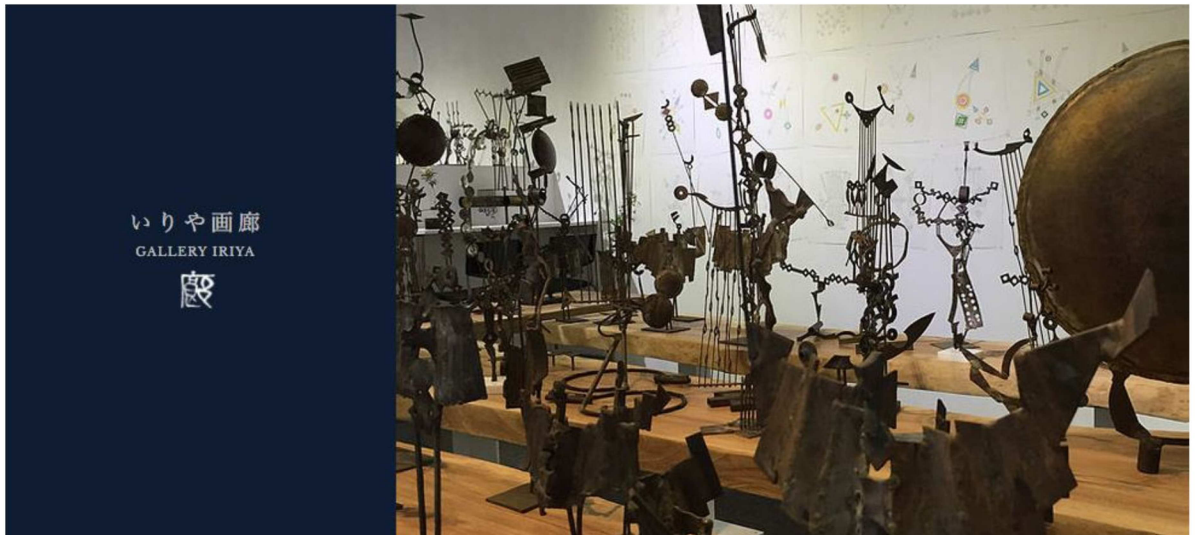
2000 東京造形大学美術専攻 II 類（彫刻）卒業

- 2002 沖縄県立芸術大学大学院 修了
- 2018 個展 交差する風景／秋吉台国際芸術村（山口）
- 2018 EXHIBITION SIBUYA AWARDS DECADE/渋谷ヒカリエ(東京)
- 2019 Pulzus Art Camp Haaz Rezso 美術館（ルーマニア）
- 2019 2019 亞太木質藝術交流展／三義木彫博物館（台湾）
- 2019 EAPAP 2019 島唄 the Island Song 濟州平和 公園（韓国）
- 2020 RE VISITING LANDSCAPE ／嘉義市立美術館（台湾）
- 2020 The History of Okinawa's Fine Arts／沖縄県立博物館・美術館(沖縄) 掲

⑨芝田 典子



- 2005 文化庁新進芸術家国内研修員（日本）
- 2016 財団法人大木記念美術作家助成基金（台湾研修）
- 2016 HASLLA ART WORLD Residency（仁川・韓国）
- 2017 助成 NPO 法人山梨メセナ協会（台湾）
- 2018 2018 旗津黒沙玩藝節（高雄・台湾）
- 2019 The 9th wood sculpture Symposium 2019 in Ringkobing デンマーク）
- 2020 板橋 435 藝文特區レジデンス（台湾）
- 2020 三義木藝傳習計畫（三義・台湾）
- 2005、2015、2016、2017、2020 年 個展



いりや画廊 GALLERY IRIYA
 東京都台東区北上野 2 - 30 - 2
 Tel/Fax : 03 - 6802 - 8122



3. 台湾時代の思い出

①本『1995年閏八月』

もう30年近く前の本だが、私が駐在した1995年頃、台湾で『1995年閏八月』という本がベストセラーになった。毎年10日ずつカレンダーが早まるアラブの旧暦と違って、中華圏では閏月（うるうつき）があって、月を調節してくれる。そのため、結果として旧暦正月も1月の半ばから2月初旬を行ったり来たりする。閏月は便利なものだ。ただ、この閏月でも8月が二回（8月と閏8月）ある年は、戦争が起きると台湾では言われていた。そのためか、総統選挙を控えた前年は、中国大陆が台湾を攻めてくると恐れられていた。

当時、私は本を買ったものの、まだ台湾に駐在したばかりだったため、中国語版の本を読み通す気力も語学力もなかった。結局、スタッフに読んでもらって要約を聞いた。内容は、中国では伝統的に領土を拡大しようという意欲はないが、自分の領土を侵されたら反撃に出るということであった。今から思えば、領土拡張意欲はありありだが、当時は、「自分の領土と思っている台湾を他にとられる場合は、強烈に反撃にでる」と私は勝手に解釈した。ただ、当時は、中国は、鄧小平の南巡講話が終わったばかりで、経済が拡大するとは思っていなかったため、中国も消極的防衛（口で強力に批判する）なのだとも思った。翌年3月に第一回総統選挙があったが、この本を裏付けるように総統選挙前に中国は、基隆沖50kmでミサイル発射訓練を行った。（橋本紀明）